

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数：4年生・62名

実施日：令和5年10月18日（水）

上越市立春日新田小学校において 出前講座「川の防災教育」を実施しました。

防災教育の専門家である上越教育大学大学院 山縣教授の協力のもと、上越市立春日新田小学校4年生（2組 計62名）を対象に、出前講座「川の防災教育」を実施しました。

本講座は全3回の内容からなり、第1回は災害・防災に関する基礎学習、第2回は散策しながら水害時の危険箇所を学ぶ現地学習、第3回は学校の周りの危険箇所・安全箇所を調べる自己学習を行います。今回は、第3回目の講座を行いました。

【山縣耕太郎教授 プロフィール】

所属：上越教育大学大学院学校教育研究科社会系教育講座教授

専門は自然地理学（島弧火山発達史、第四紀環境変遷史など）。

上越教育大学が主催する出前講座では、「地域の災害を想定する」をテーマに防災教育を行っている。

● 実施概要

日時：令和5年10月18日（水） 9:25～10:10（1組） 10:25～11:10（2組）

場所：春日新田小学校 多目的室

参加者：春日新田小学校4年生 62名

内容：①児童によるグループワーク

～通学路や周辺の洪水時に危ない場所・避難場所を地図にまとめる～

②7.11水害における学校周辺の浸水範囲と洪水ハザードマップの説明

③洪水発生時の対処方法の説明

④おわりに

（これからの治水「流域治水」の紹介）



小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数：4年生・62名

実施日：令和5年10月18日（水）

● 講座の様子



洪水時に危ない場所・避難場所
前回講座のおさらいをしながら、洪水時に危ないのはどんな場所なのか、避難できるのはどんな場所があるのか説明しました。



児童によるグループワーク①
学校周辺を写した大きな地図にシールを貼って、児童それぞれの自宅の位置を確認しました。



児童によるグループワーク②
続けて同じ地図に、児童が事前に調べた洪水時に危ない場所・避難できる場所を、付箋に書いて貼り付けてもらいました。



グループワークの成果

児童にまとめてもらった地図から、通学路やその周辺には洪水時に危ない場所・逃げ込める安全な場所の位置を確認しました。



7.11水害の浸水範囲

7.11水害で浸水した範囲（青斜線）を、グループワークで作成した地図に重ねました。小学校をはじめ、多くの児童の自宅も浸水範囲内となっていたことを確認しました。



洪水ハザードマップの浸水範囲

洪水ハザードマップの予想浸水範囲（赤斜線）を、グループワークで作成した地図に重ねました。学校周辺はほとんど浸水する予想のため、備えが必須であると知ることができました。



講座のまとめ

洪水の被害にあわないために、「洪水が起こる前に避難する、洪水に関する放送を聴く、洪水が起こったらなるべく外に出ない、洪水時のことを家族と話し合う」ことが重要だと説明しました。



川の恵み

洪水時は怖い川も、普段は生活に欠かせない水を運んでくれるなくてはならない存在であることを説明しました。



おわりに

近年増加する堤防やダムでは抑えきれない洪水被害に対応するため、流域に住むあらゆる人々が協力して被害を減らすという「流域治水」の考え方を紹介しました。